



当市における 鳥獣被害対策は

草間 和幸（久比岐野）



Q 安心安全の確保のための取組を聞きたい。

A 「捕獲対策」、「出没抑制の環境整備」、「人身被害の未然防止や出没時の対応・啓発」といった3つの取組を継続して実施している。

Q 環境部と農林水産部を統合し、鳥獣対策専門の対策室を設けることはできないか。

A 効果的、効率的に市民の安全を守るため、真摯に検討する。

豪雨被害の新たな対策は

Q 令和7年9月3日の局地的短時間豪雨での被害を受け、新たな対応策は考えているか。

A アンダーパスにおける冠水警報表示システムの設置や、道路冠水が常態化している箇所への警戒表示等を計画的に進める。



上越市の今後の農業ビジョンは

Q 農業の位置付けと将来像の考えを聞きたい。

A 農業は重要な基幹産業で、「いのちと暮らし」の原点である。担い手の確保、作業の効率化やコスト低減が肝要であり、特に中山間地では、農村の維持という視点から、幅広い担い手確保を推進する。また、農地集積やスマート農業技術の導入も積極的に進めていきたい。



市長公約を具体的に 掘り下げる！

こんどう 彰治（市民クラブ）



Q 喫緊の課題として物価高騰対策を掲げたが、市としてどのような対策を考えているのか。

A 国の施策や交付金の詳細を確認して検討を進めている。一連の対策を速やかに取りまとめ、各種支援策を迅速に実行することで、市民生活と事業活動を下支えしたい。

Q 13区に「こどもセンター」を整備するとしているが、具体的なスケジュール等を聞きたい。

A 令和8年度中に1か所程度設置し、住民組織等の地域団体に運営を担ってもらうことを考えている。その利用状況や地域のニーズ等を踏まえ、令和9年度以降の増設を検討する。

Q 前市長の政策である通年観光計画や地域独自の予算事業は継続するのか。

A 通年観光計画は令和8年度予算編成等の中で実施の可否を含めて精査したい。地域独自の予算事業は、複数の課題があると認識しており、様々な角度から検証していく。

市道に架かる橋梁の現状は

Q 橋梁の老朽化の状況とその対策はどうか。

A 市管理の1160橋中、耐用年数の50年を超える橋梁は390橋あり、10年後には827橋となる見込みである。平成25年度に策定した計画に基づき、計画的、効率的な修繕に取り組んでおり、現在通行止めを要する橋梁はない。



デジタル化に伴う 「考える力」の育成を

櫻庭 節子（みらい）



Q デジタル技術の発展などによって自分自身で考えなくても便利に生活できる今の環境は、「考える力」を退化させるのではないかという指摘があるが、市長の問題意識を聞きたい。

A デジタル社会の進展により、情報量が多すぎることや、思考が短絡化されること、また、誤った情報の拡散による社会の混乱など様々な課題が指摘されている。こうした新たな課題について「考える力」の観点で言えば、膨大な情報の中から主体的に情報の質を見極め、必要な情報を判断する力や、複数の視点から考える力を養うことが一層重要になるものと考えている。

市内道路の安全性は

Q 埼玉県八潮市の道路陥没を受けた道路下の空洞調査では、「すぐに対応が必要と判定された下水道の幹線管路の腐食はない」とされたが、その後、直江津地区の道路で陥没が発見された。他の道路下における空洞の存在が危惧されるが、今後の点検方針はどうか。

A 当該陥没は主要路線を対象に実施した空洞調査の対象外であったが、覚知後は速やかに復旧工事を実施した。来年度も主要路線の空洞調査の実施を検討しているほか、引き続きパトロールや市民からの通報等により道路状況の把握に努め、適切な維持管理に取り組む。